



スポーツの秋、そして芸術の秋

副校長 後藤 茂敦

今年も残すところ2か月となり、朝晩はやっと肌寒い気候になってきました。10月23日は、二十四節気18番目の節気「霜降そうこう（早朝に霜が降りはじめの頃）」でした。そして本日より1週間後の11月7日は「立冬」です。暦の上では冬の到来となり、秋を飛び越えてしまった印象です。

そんな中、二小ではスポーツの秋として子供たちが楽しみにしている運動会を10月19日（土）に実施しました。当日は季節外れの真夏日となり、汗をぬぐいながらの演技となりました。暑さだけでなく当日までの天気にも悩まされた運動会でしたが、そんな中、運動会后あるエピソードを聞きました。

6年生は小学校生活最後の運動会です。本当は、前日金曜日のリハーサルで本番さながらの演技をして当日に備える予定でした。しかし、運動会前日は雨予報となっていたため、リハーサルは前々日の木曜日に実施することになりました。前日の金曜日も天気を見ながら校庭で最後の練習を行う



ことも可能でしたが、木曜日に最後の練習としてリハーサルを行っていたため、6年担任は子供たちを信じあえてそのまま当日を迎えることにしました。そして、あの雄大な6年生の演技が終わり、教室に戻ったある6年生が一言「もっと踊りたい!」とつぶやいたそうです。もしも金曜日に追加して練習していたら、聞くことができなかった言葉かもしれません。子供たちのやる気とそれに応えようとする担任との絆から生まれた貴重な一言だと私は感じました。



運動会当日は、たくさんの保護者・地域の皆様に見守られながら子供たちは伸び伸びと演技をすることができました。ありがとうございました。お寄せいただいたご意見を生かしながら、来年度も子供たちが輝く運動会を実施したいと思います。

そして、来る11月22日（金）23日（土）は、二小体育館が楽しい美術館になる展覧会を開催します。「この手でつくる いま と みらい」をテーマに、子供たちは作品づくりに励んでいます。まもなく移転の校舎では、廊下や階段をキャンバスにした「校舎の思い出プロジェクト」を実施しています。また、保管してあった過去の卒業制作の展示を理科室で行う予定です。新たな取組として22日（金）は、秋の夜長を彩る19時までの「夜の展覧会」も実施します。展覧会をぜひ楽しみにしててください。